

はなみずき

第12号

(平成24年7月号)

地域医療の充実を目指して ～整形外科の取組み～



平成24年4月「手外科外来」スタート

今年度はスタッフが5人から7人になり6月から待望の新患外来を開設することができました。これにより初診の方の待ち時間が減り、予約の方の時刻遅れも軽減するものと期待しています。また4月から新スタッフ（坂口）による**手外科外来**を開設しました。

当科では主として手術治療を行っていますが、骨粗鬆症や関節リウマチ（庄司）の薬物療法も積極的に行っています。骨粗鬆症に対しては骨密度の精度の高い検査や骨代謝検査を元に内服治療や骨形成促進剤を使用し、骨折の予防に取り組んでいます。関節リウマチは診療ガイドラインに従い、生物学的製剤も使用した治療に取り組んでいます。今年度からは免疫リウマチ内科と協力し治療を進めていきます。症状が落ち着いた状態になれば、地域で開業されている先生方に紹介し、投薬など継続治療をしていただいています。

低侵襲で痛みの少ない手術で早期回復

手術は患者さんの体にやさしい“**低侵襲**”な手術を目指しています。

膝関節担当（安原、草間）膝十字靱帯修復、関節鏡を駆使した半月板手術など

を行っています。特に術後の痛みが少ない人工関節置換（膝関節、股関節）が特長で、人工関節でも術後3週程度で自宅退院可能となっています。

脊椎担当（長山、庄司）腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下摘出術（MED）脊柱管狭窄症に対しての顕微鏡手術は術後の痛みが少なく翌日から歩行可能で、早い人は術後数日で退院可能となります。また、頸椎手術、不安定腰椎の固定術も経験を重ねています。今年度から開設した手外科外来（坂口）では手指、手、肘、肩関節を中心に外傷を始め、関節、腱や靱帯の障害の治療を通じ機能回復をめざします。膝関節、脊椎の治療には数年来力を注いでおり飛躍的に手術数が増えています。

手術の相談に来られる場合は診療所からの紹介でお越しいただけると診療がスムーズに進みますのでよろしくお願いします。

クリニカルパスで結ぶ 「地域完結型医療」

骨折や外傷の患者さんの受け入れは救命センターと協力体制があり、必要な治療をすばやく提供できるようになっています。骨折手術では早く社会復帰できるように工夫して治療を進めています。これらを毎年、骨折の治療に関する学会に



発表しています。

高齢者に多い大腿骨頸部骨折の治療は地域のリハビリテーション病院10施設と地域連携クリニカルパスを作成し連携を充実させ、手術後の寝たきりを予防し社会復帰を早める努力をしています。地域連携クリニカルパスはこの地域では早くから活動を開始し充実したものになっています。

今年度はスタッフが充実し質の向上も図って、この地域に居住される皆さんや診療所、クリニックの先生方の期待にこたえるよう努力していく所存です。



診療受付時間

☆月～金曜日 8:30～11:30 12:30～14:30

☆土曜日 8:30～11:30

☆休診日 日、祝、12/31、1/1、1/2、1/3

- ・初診の方で紹介状をお持ちでない方には、保険外併用療養費として3,150円いただきます。
- ・歯科・口腔外科、耳鼻咽喉科、心療内科、神経内科への受診は、予約の上紹介状が必要となります。
- ・詳しくは当院ホームページの外来診療のご案内をご覧ください。

当院ご利用案内

患者さんやご家族の方々から下記のような様々なご相談をお受けしています。誰に相談していいかわからないことがあれば、まずは医療相談窓口にご相談ください。

- (1) 医療に関すること
- (2) 当院での受診に関すること
- (3) 病院に対するご意見、ご要望、苦情等に関すること
- (4) 個人情報保護に関すること
- (5) 医療安全に関すること

なお、医療相談窓口でお受けしたご相談内容でご希望があれば、日時を調整の上当院の第三者委員を交えて相談することができます。

医療相談窓口

X線造影剤は恐ろしい！？

タイトルは怖いですが、お茶でも飲みながら、気楽に読んでください。

X線造影剤とは、X線フィルムに影を造る薬剤です。現在ではフィルム写真を作成することは少なくなりましたが、デジタル画像についても同じことです。X線の透過率の差を造ることによって、病変部位と正常部位の位置、形状、大きさ、機能、病的变化等を明瞭にし、診断を容易にする薬剤であります。

X線造影剤は、主成分にヨードを含み、体内で代謝されることなく約24時間で尿中に投与量のほぼ全量が排泄されます。X線造影剤は、病変の検出率の向上、質的診断に寄与しますが、一方で副作用の発現という問題点があります。悪心、嘔吐、皮疹などの頻度の高いものから、ショックなどの死亡にいたる重篤な副作用があります。また、造影剤は腎臓から排泄されますので、腎機能の悪い方には使用できません。

このようなことから自分は造影剤を使用しても大丈夫なのか、造影検査がほんとうに必要なのか、主治医から十分に説明をうける必要があります。そのために問診表と同意書があります。問診表は、あなたの体の状態を効率よく知るためのものです。同意書は、十分に説明を聞き、納得をした証となるものです。自分自身の意思の確認です。だれにも遠慮する必要はありません。これは検査を受けるあなたのためにあるものです。

現在、最も造影剤を使用する頻度の高い検査はCT検査です。

まず、被曝を伴うCT検査を受ける必要があるのか、が問われます。経験の少ない医者ほどやたらCT検査を訳もなく依頼したがるものです。あなたの主治医は

大丈夫ですか。

次に、CT検査には、造影剤を使用しない単純CTと造影剤を使用する造影CTがあります。CT画像を読影している我々放射線科医からすれば、単純CTにて大体のことがわかりますが、造影CTを必要とする病態があります。

CTを依頼されたら、それは造影CTか単純CTのどちらであるかを確認してください。「とりあえず単純CTをとりましょう」では、読影医も困りますし、場合によっては造影CTを撮影するために再び来院しなければなりません。

もし造影CT依頼の場合であれば、どうして造影が必要なのかその目的を指示医に確認してください。あなたの命にかかわる問題です。被曝をして、良くわからない薬を注射されて、何回も病院に足を運び、挙句の果てに「よくわからないので様子をみましょう」といわれる。たまったものじゃありません。そういえば最近「太往生したけりや医療とかかわるな」というタイトルの本がベストセラーになっていました。

■医師の紹介

放射線科部長 井上 悦男 (いのうえ えつお)

【プロフィール】

認定医：日本医学放射線学会専門医

所属学会：日本磁気共鳴医学会、日本血管造影IVR学会、

北米放射線学会、日本肝臓学会、

その他：日本ソムリエ協会、日本サイクリング協会、以上会員

無料低額診療事業の相談について(ご案内)

当院は社会福祉法人の病院であり、社会福祉法に規定された経済的な事情により必要な医療が受けられない人々に対して適切な医療を受けることができるように支援することを目的とした無料低額診療事業を行っています。

「急な入院で支払いができない」「介護もしているので、費用負担が重い」「非課税世帯で収入が少ない」「障害者手帳を持っていて医療費助成制度の対象になっている」など医療費の負担ができないといった相談を具体的に解決していきます。また、さまざまな保険制度に関することや医療費の支払いに関する相談も受け付けています。相談は、産科・婦人科の奥にある福祉相談室にてソーシャルワーカーが承っています。

このほか「介護が必要になりそうだが、どうしたらいいかわからない」「がんで治療をしているが、今後のことについて情報提供してほしい」「離れて暮らしているので、一人暮らしの父親のことが心配だ」などの生活に関する相談も受け付けています。

福祉相談室受付時間：平日午前9時～午後4時・土曜9時～12時
(受付状況によりお待たせする場合がありますが、ご了承下さい。)

巡回バスが新しくなりました

バスのデザイン(色)が変わりましたのでご注意ください。
※ 運行時刻やコースは変わりません。



■医療の提供の結果に関する事項(厚生労働省「医療広告ガイドライン」に準拠)

項目	単位	H23年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H24年 1月	2月	3月	4月
新入院患者数	人	712	797	753	831	716	795	776	796	766	799	805	790
退院患者数	人	704	762	798	806	742	779	763	873	664	825	822	802
在院患者数(24時現在)	人	8,991	8,783	9,085	8,994	8,669	9,011	8,759	8,845	9,341	8,763	8,870	9,126
1日平均在院患者数(※1)	人	312.7	318.2	318.8	316.1	313.7	315.8	317.4	313.5	322.7	330.6	312.6	330.9
平均在院数(※2)	日	12.7	11.2	11.7	10.7	11.5	11.2	11.3	10.5	12.7	10.6	10.7	11.2

※1～退院患者数+在院患者数(24時現在)を暦日数で割ったもの

※2～在院患者数(24時現在)を(新入院患者数+退院患者数)／2で割ったもの

医療の豆知識

放射線と医療と被曝リスク（その１）

地球上の生物は太古より宇宙線などの自然に存在する放射線の中で生きてきました。約 100 年前に W.C. レントゲンがエックス線を発見してから人工の放射線や放射性物質による被曝が追加されたこととなりますが、現在は約 100 年間の経験や研究から得られた知識により管理された放射線が利用されています。

今回、放射線診療に従事する診療放射線技師の立場からどなたにもご理解いただけるように“放射線と医療と被曝リスク”についてお話したいと思います。

放射線とは光（可視光：目に見える七色の光）の一種です。（図 1）。

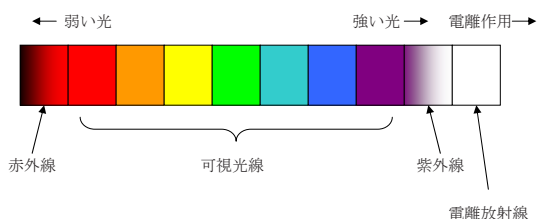


図 1

紫外線と放射線の境は明確ではなく放射線に近い紫外線があり、放射線と同様の能力を持ったものもあります。

放射線には宇宙線（主に太陽光）や地球に天然に存在するウランなどの放射性物質から放出されるものと、エックス線管（真空管の一種）から発生するエックス線や人工の放射性物質から放出される放射線（ガンマ線など）があります。医療に利用されるのは主にエックス線管と人工の放射性物質です。エックス線管は胸（肺）の撮影（図 2）、骨密度測定、CT 検査、血管撮影や一部の放射線治療に利

用され、人工の放射性物質は PET などの核医学検査（図 3）や放射線治療に利用されています。これら以外にも原子炉などで発生する粒子線と呼ばれる放射線も存在しますが、当院も含め一般的な医療では利用されていないので説明は控えます。



図 2（胸の写真）

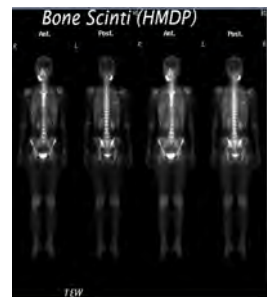


図 3（骨の核医学検査写真）

次に放射線が人体に及ぼす影響についてお話します。放射線は人体の設計図である遺伝子（DNA）を傷つけたり、体内の水を分解して毒性の強い物質を生成し、この物質が遺伝子を傷つけることがあります。しかし、この遺伝子は修復能力があり通常は元の状態に戻りますが、稀に修復が出来なかったり間違った修復が発生することがあり、このときに初めて放射線による影響が出ます。遺伝子が正しく修復された場合には放射線による影響は起こらないことになります。

これらの影響の度合いは放射線の量により比較的少量による確率的影響（影響が出る人もあれば出ない人もある）と比較的多い量による確定的影響（どのくらいの量でどんな影響が出るか判明している）があります。

次の機会には影響とリスクについてお話しできればと思っています。

放射線部技師長 藪之内 照明

看護部

「女」&「男」
看護師



千里さくらちゃん☆キャッキーくん

2002 年 1 月以降、「ナースマン（Nurse Man）」なる言葉を耳にしますが、これはテレビ番組の造語で、本来「ナース（Nurse）」とは性別のない呼称です。わが国では、女性は「看護婦」、男性は「看護師」でしたが、2001 年の「保健師助産師看護師法」改正で、男女共に「看護師」に統一されました。

わが国で就業する看護師数は約 95 万人（2010 年現在）で、その内男性看護師数は約 5 万 3000 人と全体の約 5.6% です。約 3%（1998 年）、

約 3.4%（2000 年）、約 5.1%（2008 年）、約 5.6%（2010 年）と増え続け、2012 年中に 6 万人超となる見込みです。当院の男性看護師数は 37 名で、看護師全体の 12% 超を占め、看護部 12 部署中の 11 部署で看護に携わっています。

2011 年 1 月、当院の男性看護師全員に“どうして看護師になったのか？”と尋ねたところ、「誰かの手助けをすることでやりがいを感じる」「中学の時入院し、自分についてくれた男性看護学生に憧れた」「20 歳の時に初めて人が亡くなることを体験して、命の大切さを痛感したので」「祖母を助けられなかったから」などの答えでした。次に“看護師になって良かったこと・嬉しかったことは？”と問うと、「患者さんの“いてくれて良かった”“ありがとう”の言葉や笑顔」「重症だった患者さんが元気になって歩

かれていたり、退院されていく姿を見かけたとき」「看護師は常に勉強が必要で、自分次第で看護が深められることにやりがいを感じる」「スタッフで協力して、患者さんの苦痛を緩和したり、褥瘡が治った時とても嬉しい」等々の声が寄せられました。

“男性看護師だから困ったこと・悩んだことは？”の問いには「女性患者さんに対応する際、気を遣わせて申し訳ないと思う場合がある」という答えとともに、「学生時代は悩んだこともあるが、今は“住み分けがあって当たり前”と考えている」と答えられた方もいました。逆に男性患者さんの立場から見て、男性看護師には言える内容でも、女性看護師には話づらい場合もあるでしょうから“住み分け”の発想は成る程と思いました。どうかこれからも当院の「看護師」たちをよろしくお願いします。

行事予定

済生会千里病院

平成24年
7月～9月

※変更になる場合があります。
予めご了承ください。



■大阪府AED・BLS講習会

【日 時】 8月8日(水) 13時～17時
【開催場所】 病院東館3階講堂

【お問い合わせ】 大阪ライフサポート協会事務局
☎06-6370-5883 (10時～17時) ※要予約

■糖尿病教室

【日時・演題】 8月 6日(月)「糖尿病の治療について」
9月 3日(月) 未定 いずれも13時～14時
【開催場所】 病院東館3階研修室

【お問い合わせ】 栄養科 ☎06-6871-0121 内線208

■肝臓病消化器病教室

【日時・演題】 8月22日(水)「胃瘻について」 15時～
【開催場所】 病院東館3階研修室

【お問い合わせ】 なでしこプラン推進室 ☎06-6871-0121 内線603
または当院総合受付2番窓口 ※要予約(先着40名)

■健康講座

【日時・演題】 9月 1日(土)「血尿について」 14時～15時
【開催場所】 病院東館3階講堂

【お問い合わせ】 なでしこプラン推進室 ☎06-6871-0121 内線603

■母親教室

助産師が妊娠後半期のマイナートラブルや分娩経過・入院方法について分かりやすく説明しております。
ご家族の参加もお待ちしております。

【日 時】 毎月2回(第1木曜・第3土曜)
【開催場所】 病院病棟3階デイルーム

【お問い合わせ】 産婦人科外来 ☎06-6871-0121 ※要予約

■セカンド・オピニオンについて

他の病院で治療を受けられている方が、
当院の医師に意見を聞きたいというご希望に
応える為に、セカンド・オピニオン外
来を行っております。

【お問い合わせ】

1階総合受付カウンター・(医事課)

■患者さんへのお願い

- 療養環境向上の為、敷地内禁煙となっておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。
- 携帯電話のご利用は「携帯電話エリア」にてお願いします。
なお職員が使用しております携帯電話(赤色ストラップ付)は、一般の携帯電話とは異なるものです。

■卒後臨床研修病院について

当院は臨床研修医に対する教育病院
(臨床研修病院)です。
指導医の指導の下、日々研鑽を積みながら
患者さんの診療に当たっております。
臨床研修医に対し、お気付きの点があれば、
何なりとご意見をお寄せ下さい。

済生会千里病院の理念

「心のこもった医療」 基本方針

私たち、済生会千里病院の職員は、

1. 窮境にある人々の医療を積極的に支援します。
2. 安全で良質な医療を心をこめて提供します。
3. 医療の透明性とアカウンタビリティ(説明責任)に忠実である病院を実現します。
4. 地域の中核病院として、また救急医療を含む急性期医療の実践により地域医療に貢献できる病院を実現します。
5. 常に研鑽を積み、最高、最適の医療を追求します。

職員の信条

私たち職員は、患者さんのために、地域のために、心をこめて最高最適の医療を提供します。

個人情報保護方針について

個人情報保護法の趣旨を尊重し、患者さんの個人情報を厳重に管理し、これを担保するために「個人情報保護方針」「個人情報保護規程」「個人情報保護計画」を定めております。

患者さんの権利と責務

(患者さん—医療者のパートナーシップの強化)

1. どなたにでも常に人格を尊重し、良質で安全な医療を公平に提供します。
2. あなたの病気やその診療について、わかりやすい言葉で詳しく説明をするよう努めています。もし、わからないところがあれば質問してください。
3. あなたが気になること、疑問に思うこと、希望することなど、遠慮なくご相談ください。
4. 他の医師の意見(セカンド・オピニオン)や他の医療機関に転院を希望される場合は、おっしゃってください。
5. 治療方法などをご自分の意思で決めていただけるよう、十分な説明と情報提供を行います。
6. 診療の過程で得られた個人情報の秘密を守ります。また、病院内での私的な生活が、可能な限り他人にさらされず、乱されないように努めます。
7. 良質な医療を提供するため、あなたの健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただくようお願いします。
8. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの診療に支障をきたさないよう、ご配慮をお願いします。
9. お互いに理解を深め、ともに治療を進めていきましょう。



地域医療支援病院

社会福祉法人

恩賜財団

大阪府済生会千里病院

広報ホームページ委員会(経営企画課)

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台1丁目1番6号 TEL.06-6871-0121(代)
ホームページ <http://www.senri.saiseikai.or.jp/>

■本紙についてのご意見・ご感想などございましたら下記までお寄せ下さい
E-mail:hanamizuki@senri.saiseikai.or.jp (右のQRコードからもアクセスできます)

